

（３）水道施設整備計画の工程表

水道施設整備計画における各項目の工程（予定）は図 8.1 のとおりです。前期（令和 7～11 年度）は、新武山配水場の竣工や第 6 次拡張事業を主眼とし、施設整備を行います。また、後期（令和 12～16 年度）では、老朽設備や老朽管の更新事業を重点的に推進します。本計画の総事業費は、令和 7 年度から令和 16 年度までに約 29.6 億円となる見込みです。

なお、工程は計画策定段階での予定であるため、その時々水道事業運営の状況や財政状況によって見直すことがあります。

項目	事業内容	下田市新水道事業ビジョン 計画期間										
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
新武山配水場 整備事業	配水池築造											
	ポンプ室建設											
	送水管更新											
第6次拡張事業	須原地区											
	上大沢地区											
施設更新	施設統廃合											
老朽設備更新	機械・電気設備											
老朽管更新事業	石綿管、塩ビ管更新											
事業費		前期 17.0億円					後期 12.6億円					

図 8.1 水道施設整備計画における各項目の工程（予定）

（４）投資計画の目標

計画期間の前半は主要施設の整備や拡張事業を中心に取り組み、後半は老朽化管路の更新及び耐震化に重点的に取り組み、災害対策に努めます。

【投資目標】

- ① 配水池耐震化率の向上：2 池の耐震化（目標年度：令和 8 年度）
武山配水池の更新を実施し、配水池の耐震化率向上を図ります。
- ② 管路更新率：1.25%以上（目標年度：令和 10 年度以降）
年間約 2.5km（管路更新率 1.25%）の老朽管更新を目標にします。結果として管路老朽化率及び管路耐震化率の向上も図ります。